

兵庫県立光風病院 地域医療連携ニュース

平成 27 年度 第 1 号

光る風

発行：兵庫県立光風病院

〒651-1242

神戸市北区山田町上谷上字登り尾 3

TEL (078) 581-1013 (代)

FAX (078) 581-1005

URL <http://www.kofu-hosp.jp/>

平成 27 年 ごあいさつ

兵庫県立光風病院 院長

田中 究



平成 23 年厚生労働省は、それまでの「癌」「脳卒中」「心臓病」「糖尿病」に「精神疾患」を加えて「5 大疾病」とする方針を定めました。その背景には、うつ病や認知症などをはじめ精神疾患が年々増加し、平成 11 年からの 10 年間に 1.5 倍となり、その増加率が従来の「4 大疾病」をはるかに上回っており、緊急に重点的な対策を取ることが不可欠と判断されたことがあります。平成 23 年の精神疾患患者数は 320 万人と糖尿病の 1.5 倍と、私たちの誰もがなりうる疾患といえるでしょう。光風病院でもうつ病や認知症への専門的な診断と治療ができるように、医療機器や専門医などの整備を進めることにしております。

また、新たな治療法の開発や地域における社会福祉資源の充実によって、長く入院されている方が社会生活できるようになってきました。そうした、精神疾患を持つ方の地域での暮らしを支えていくような仕組みを作って参りたいと存じます。

さらに、身体疾患と精神疾患を併せもつ方の治療を、7 月に開設される兵庫県立尼崎総合医療センターと連携を行っております。当院では依存症専門病棟(H8)、精神科救急医療センター(H19)、児童思春期センター「ひかりの森」(H25)と専門的な精神科医療の整備をおこなって参りましたが、今後も職員一同、より専門性の高い、安心してかけられる病院になるように一層尽力して参ります。

はじめまして！ よろしくおねがいします！

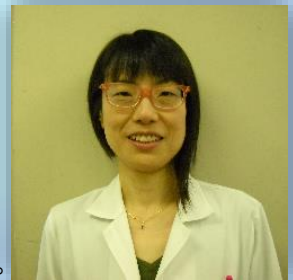
専攻医 小林明美



4月より光風病院で働かせていただいております。専攻医3年目の小林明美です。
毎日の駅から病院までの登山は、運動不足の私の体にはかなりこたえています。息切れしながらエレベーターを待つことが、朝の日課となりました。

光風病院は、病棟も多く、救急患者さんも頻繁に来られるので、あたふた、オロオロの連続です。そんな中、窓から飛び込んできた風景にふと立ち止まったり、デイクア棟に向かう通路で風に吹かれながら歩を緩めたりすると、ふわっと緊張がとけていきます。出会いの中の小さな楽しみを大切にしながら、みなさんと接していきたいと思っています。

ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、よろしくお願いいたします。



専攻医 住友克至



初めまして、兵庫県立光風病院専攻医1年目の住友克至と申します。実は私、生まれ育ちは徳島の人間でして、学生時は九州の宮崎、初期研修はまた徳島に戻って徳島市民病院で、その後は兵庫県立光風病院で後期研修医として採用していただき、今年度4月よりお世話になっております。

このように、各地を転々としており、精神科医としての経験がこれからであるほかにも、関西・兵庫での居住も今年から初めてであり、臨床経験はもちろんのこと、兵庫県の事情、土地勘についてもまだまだ未熟者、というよりも初心者に等しい状況です。今後何かとご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、一日でも早く一人前になって先輩の先生方のように仕事ができるよう努めて参りますので、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



専攻医 松宮寧子



こんにちは。今年の4月から県立光風病院で精神科後期研修をさせていただいております、1年目専攻医の松宮寧子です。分からない事ばかりですが、先生方に初歩から丁寧に指導を頂きながら充実した日々を送っています。まだまだ未熟ですが、今後とも精進していきたいと思っていますのでどうぞよろしくお願い致します。



よろしくお願いします♥

看護部次長兼地域医療連携部課長 上西美奈子

平成 27 年 4 月 1 日着任致しました上西（うえにし）です。昨年度までは兵庫県立尼崎病院の看護師長兼地域医療連携センター課長として勤務していました。

着任当日、谷上駅に着いた私にウグイスが「ホーホケキョ・ようこそ！」と迎えてくれ、とても感激しました。光風病院は自然の中にあり、伝統ある病院で有ることを実感しました。

精神疾患は、近年認知症の方が増加することから、患者数は増加傾向にあります。厚生労働省もがん、脳卒中、心臓病、糖尿病の4大疾病に、新たに精神疾患を加えて「5大疾病」とする方針を決めました。精神疾患は私たち誰でもかかる病気といえます。今後も光風病院は、多くの様々な精神疾患の方を対象として診療を提供していくことになります。地域医療連携部としても、地域の医療機関や行政、福祉、学校とも顔の見える関係を築き、その役割を果たしていきたいと思います。

微力ですが頑張りますので、よろしくお願いいたします。



包括的暴力防止プログラム(CVPPP)について

みなさんこんにちは。今回は包括的暴力防止プログラム(CVPPP)のご紹介の機会をいただきました。

CVPPP は、日本では佐賀県の肥前精神医療センターにて 2004 年から研修が始まりました。CVPPP と言うと「合気道みたいなやつでしょ？」と言われるくらい、身体介入技術のイメージが強いのですが、決してそれだけではありません。

このプログラムで最も重要なことは「攻撃的な患者に対してケアとしていかに患者に寄り添い、その怒りがおさまるように治療的に関わるか」という視点から、安全で治療的な環境を守る」という理念です。プログラムはこの理念に基づき、リスクアセスメントの方法、コミュニケーション技術による興奮状態への介入法(ディエスカレーション)、身体的介入技法(チームテクニクス、ブレイクアウェイ法)、心理的サポート(ディブリーフィング)という構成となっています。

当院では 2005 年に最初のインストラクター 2 名が誕生しました。今年度には CVPPP ワーキンググループを立ち上げ、現在は 4 名のインストラクターと 14 名のトレーナーが在籍し、院内外での研修の企画・運営やトレーニングを行っています。

研修企画では、県立病院であることを生かして、精神科以外の病院や施設職員への研修も行っています。また当院においては、MA スタッフや医事課職員など、より多くの職種の方に学んでいただけるように研修対象者の幅を広げていっているところです。研修参加者からは「暴力が何かを改めて知り、考えることができた」「暴力は力を使って抑えるしかできないと思っていたが、言葉を使っていくことがまず大切だとわかった」等の感想が多数寄せられています。

CVPPP はチーム内で多くのスタッフが知識・技術を習得してこそ、よりその効果を発揮することができます。いつも安全で安心した医療を提供できるように、これからも多くの皆さんに学んでいただきたく、私たちががんばっていききたいと思います！

なお、病院単位での研修も行いますので、是非お声かけ下さい！お待ちしております！！

(看護企画室)

★今年度の研修計画★

- ①6月18日(木)…県立病院対象
- ②10月14日(水)、15日(木)…院内対象
- ③2月17日(水)、18日(木)…院外精神科対象

院外の方が
対象になります。
ぜひご参加ください!!

光風病院 外来診療のご案内

平成27年4月1日現在

成人外来担当

		月	火	水	木	金
1診 (初診)	午前①	松 田	塚 田	藤 田	鈴 木	曾 我
	午前②	松 田	塚 田	藤 田	鈴 木	曾 我
	午後			廣 田		
2診 (初診)	午前①	小林明	射 場	置塩(アルコール)	木 尾	坂 口
	午前②	小林明	射場(アルコール)			坂口(成人発達)
	午後			澤 田		
3診 (再診)	午前	平 良	田 中	見 野	葛 山	藤 田
	午後					
4診 (再診)	午前	石 橋	鈴 木	松 田	白 井	田中(成人発達)
	午後					田中(成人発達)
5診 (再診)	午前	木 尾	中 井	曾 我	置 塩	廣 田
	午後					
6診 (再診)	午前	三 田	和 田	坂 口	小林明	射 場
	午後					
7診 (再診)	午前		柴 田		塚 田	
	午後					関 口
8診 (再診)	午前				澤 田	補 永
	午後					
11診 (内科)	午前	濱 田		濱 田	濱 田	濱 田
	午後					

児童思春期外来担当

		月	火	水	木	金
1診	午前	小林三 (初診)	補 永 (初診)	田 中 (初診)	持 田 (初・再)	和 田 (再診)
	午後		補 永 (再診)	田 中 (再診)	持 田 (初・再)	和 田 (初・再)
2診	午前		持 田 (再診)	渡 邊 (初診)	補 永 (初診)	渡 邊 (初診)
	午後		持 田 (初・再)	渡 邊 (再診)	補 永 (再診)	渡 邊 (再診)
4診	午前				小林三 (初・再)	
	午後				小林三 (再診)	

編集後記



新たなスタッフを迎え、光風病院もさらに新しい光と風が吹き込まれました。
 地域の方々との連携をより一層深められるよう、各職種が高度な専門性を発揮し、患者さまの
 治療や支援にそれぞれの力が発揮できるよう、今年度も職員一同取り組んでまいります。
 皆様のお力添え、よろしくお願いいたします。